

次 目

□吾人の外面生活と内面生活

卷之三

千葉安良

□ 東京土地

□報 告（その一）

□報 告（その二）

春の雪（和歌）

□英國よりの初たより

圖書雜報

記事 □ 會計報告

術談話會總會

記事
□會計報告

記事 □ 會計報告

100

吾人の外面生活と内面生活

千葉安良

緒言

一元哲學の信仰者であり、エネルギー説の學習者である私には、一物に表現する二面乃至多面の相を、悉く絶對の對立をなせる個々別々の現象として取り扱ふことは出來ないが、エネルギーの發相が多面性のものであるといふ事實がある以上、その各面各面が皆確かな實在性を有して居るものである以上、その一面一面を單獨に觀察し研究し得るし、更にその或る一面と或る他の一面との關係を考察することも出來ると信ずる。凡ての科學がそれぞれその獨特の研究の領分を有し、又他の科學との交渉を有する理由は其處にあると思ふ。かういふ見地の上に立つて、私は今、吾人の外面生活と内面生活との關係を考へて見ようと思ふのである。